

# 「第2期姫路市官民データ活用推進計画（案）」に関する 市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

## 1 市民意見の提出状況

- (1) 案件名 第2期姫路市官民データ活用推進計画（案）
- (2) 意見募集期間 令和4年12月20日（火）～令和5年1月20日（金）
- (3) 意見提出件数 5通13件（計画案への反映3件）

市のホームページにおいても資料を公表、簡易な入力フォームや電子メールによる意見受付を案内。5通の意見提出のうち、同入力フォームによるもの3通、電子メールによるもの2通。

## 2 市民意見の分類

項目	件数	市民意見への対応	
		意見により計画案に修正を行ったもの	計画案に記載済、または今後の事業実施の参考とするもの
計画全般	2	1	1
第1章 計画の概要			
第2章 デジタル化を取り巻く動向			
第3章 計画の構成			
第4章 基本的政策	1 行政サービスのデジタル化		
	2 暮らしのデジタル化	5	4
	3 産業のデジタル化	2	1
	4 デジタル社会を支えるシステム・技術	2	2
	5 地域資源を豊かにするデジタル活用	1	1
第5章 計画の推進体制	1		1
その他			
合計	13	3	10

### 3 市民意見により計画案の修正を行ったもの

No.	頁	項目	市民意見の概要	市の考え方
1	-	全般	全般的に必要なと思われる施策が網羅されていると思います。	<p>本計画は、姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン 2030」と連携した本市のデジタル施策の基本的な考え方を示す総合的な計画として策定するものです。</p> <p>そのため、市民の皆さまにとって読みやすく親しみをもってもらえるように、文章や図表、グラフ、用語集の充実を含め、計画全体をより分かりやすくなるよう表現の修正をします。</p>
2	29	第4章 基本的政策 2 暮らしのデジタル化	<p>教育ICT環境の充実とありますが、今でも、ユーチューブにのめり込んでおり、将来スマホを持たせたり、友人とSNSで繋がったりすることに、不安を感じています。今のうちから、姫路市が学校で情報倫理教育に頑張っていたら、子どもが将来その教育を受けることになるかもしれないし、また、姫路にある高校に通わなくても、姫路の学校の取り組みが周辺の自治体にも広がっているかもしれないと思います。</p>	<p>1人1台端末などのICT環境を充実するほか、デジタルコンテンツ等の効果的な活用により、本市が取り組む「わかる授業」を推進しております。</p> <p>ご意見を踏まえて、次のとおり修正します。</p> <p>(旧)  <b>社会のデジタル化やDXの進展の恩恵を広く市民が受けられるよう、<u>ICTリテラシー</u>の向上に努める。</b></p> <p>(新)  <b>社会のデジタル化やDXの進展の恩恵を広く市民が受けられるよう、<u>情報モラルを含めたICTリテラシー</u>の向上に努める。</b></p>

No.	頁	項 目	市民意見の概要	市の考え方
3	32	第4章 基本的政策 3 産業の デジタル化	<p>観光分野のデジタル化について、官民データ活用の推進という計画の趣旨を踏まえると、オープンデータを民間事業者が活用し、例えば観光地の商業データと人流データを組み合わせることで滞在型観光の新たな取組の検証や検討を行う方法があると考えます。</p> <p>このような取組には、姫路市が保有するデータをオープンデータとして作成、公開、メンテナンスする一連の作業を効率的に行う必要があると考えます。</p>	<p>オープンデータについては、国の「オープンデータ基本指針」等を踏まえて、本市が保有するデータのオープンデータ化を一層推進するとともに、オープンデータを活用した滞在型観光の推進を図りたいと考えます。</p> <p>ご意見を踏まえて、次のとおり修正します。</p> <p>(旧)</p> <p>多様な観光データの収集、分析による戦略的観光プロモーションを展開することにより、誘客を図り滞在型観光を推進する。</p> <p>(新)</p> <p>多様な観光データの収集、分析による戦略的観光プロモーションを展開するほか、<u>オープンデータを活用した民間事業者の新たな取組につなげ、さらなる誘客を図り滞在型観光を推進する。</u></p>

#### 4 計画案に記載済、または今後の事業実施の参考とするもの

No.	頁	項 目	市民意見の概要	市の考え方
4	-	全体	<p>貴市の情報化に関する取り組みは先進的であると考えています。特に官民データ利活用については、早期から積極的に取組まれており、参考となる部分が多いと感じています。</p>	<p>データの利活用により生まれる暮らしの豊かさという恩恵を、意識せずとも享受できる社会の実現を目指し、今後とも、官民データの利活用について、適正かつ効果的に推進してまいります。</p>
5	-	第4章 基本的政策 2 暮らしのデジタル化	<p>オープンデータの推進に際し、姫路市が保有するデータのうち、個人を特定できる情報の匿名化が必要と考えます。</p> <p>匿名化しつつもオープンデータとして利活用するに当たり、各課の職員がマスキングするのは非常に手間がかかるため、一定程度自動的に匿名化する仕組みが必要と考えます。</p>	<p>オープンデータの推進にあたっては、国の「オープンデータ基本指針」等を踏まえて運用するため、オープンデータに個人を特定する情報は含みません。</p> <p>個人情報の保護に関する法律に規定する匿名加工情報運用については、適正な運用となるよう検討してまいります。</p>
6	-		<p>行政情報分析基盤の充実とありますが、EBPMを実現するには、大量のデータを整理し、分析して可視化する仕組みが必要であると考えます。</p> <p>また、データ分析は専門的な知識も必要であるため、姫路市職員が日常的に利活用するには、ツールの導入が効果的と考えます。</p>	<p>庁内ビッグデータの分析については、市民の安全・安心が損なわれることのないよう、技術的対策も含めたより適正なデータの取り扱いが必要だと認識しています。</p> <p>「データ利活用の推進」のとおり、行政情報分析基盤の充実などを含め EBPM の推進に取り組んでまいります。</p>
7	-		<p>「市民アプリ」は、今後新規開発する予定か。「子育て支援アプリ」は、今後新規開発する予定か。</p> <p>アプリ以外の方法（ウェブページの多機能化等）で同様のサービスを提供する方が費用対効果が高いのではないか。</p>	<p>令和4年度にひめじポイントの導入に合わせて、市民アプリ「ひめパス」を構築しており、今後も機能を拡充し、発展させていきます。</p> <p>機能の拡充にあたっては、市民にとって利便性が高いものとなるよう、実装する機能の内容や費用対効果を十分に検討し、最適な方法で提供してまいります。</p>

No.	頁	項目	市民意見の概要	市の考え方
8	-		<p>子育て支援アプリ（母子健康手帳アプリ）の導入とありますが、私には子どもがいますが、自分の経験上、母子手帳の記録をスマホで確認できるのであれば、便利だと思います。</p> <p>また、スマホからパソコンやタブレットにデータを送ることができれば、子どもの記録を保管する面からも、便利だと思います。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、市民アンケートを参考に、妊娠期から子育て期の不安に対応するための各種デジタルサービスの導入を掲げており、子育て世代の利便性向上に着実に取り組んでまいります。</p>
9	-	第4章 基本的政策 3 産業のデジタル化	<p>新型コロナウイルスの流行が続く中、動画やVRなどのデジタルコンテンツが大注目されています。</p> <p>今の時代の流行に沿ったもの（VRなど）で、姫路の魅力やイベントなどを、市外や世界各国の人たちに伝えることができるのではないかと思います。</p> <p>VRを使った【視覚効果】と実際に行った感覚になれる【体験】ができるデジタルコンテンツにより、今までにはなかったオリジナルの新しいツールや、流行り・話題性をつくっていけるのではないかと考えます。</p>	<p>本市では、オンライン・バーチャルツアーによる姫路城の魅力発信を含め、新たな旅のスタイルに対応したデジタル施策を実施しております。</p> <p>AR技術等を活用した魅力的な観光資源を提供することにより、旅行者の体験価値の向上と来訪意欲の増進を図ってまいります。</p>
10	-	第4章 基本的政策 4 デジタル社会を支えるシステム・技術	<p>業務の見直し（BPR）の推進や情報システムの改革については、職員が本来業務の片手間にするのはなかなか難しいのではないかと考えます。</p> <p>また、実施に当たっては個別の業務単位で行うのではなく、全庁的に業務量を調査、分析して実施することが効果的であると考えます。</p>	<p>「自治体情報システムの標準化・共通化と業務の見直し（BPR）の推進」のとおり、業務の効率化・最適化を図ってまいります。</p>

No.	頁	項 目	市民意見の概要	市の考え方
11	-		<p>地域のデジタル化とゼロカーボンシティへの取組みの両立を実現するための設備として「ソーラー蓄電機能を備えた無給電ポールの採用による地域の IoT 機器設置」についても調査・検討することが有効ではないかと考えます。</p> <p>(活用例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然災害発生の可能性がある地域などの情報センサーにより収集し危険予知に活用する</li> <li>・ 野生動物等による農作物被害を防ぐための警報設備としての活用</li> </ul>	<p>ソーラー蓄電機能を備えた無給電ポールなど、デジタル技術を活用した新たな機器が生み出されていることから、地域課題の解決や市民サービスの向上などの実現に向け、そのような先進技術の活用について調査・検討してまいります。</p>
12	-	第4章 基本的政策 5 地域資源を豊かにするデジタル活用	<p>姫路市のデジタル化推進として、ぜひ、公的施設の WIFI 環境の整備をお願いをしたいと思います。現行の公的施設の WIFI 環境は、使用できても会議等で複数人数が利用するときは、不安定になりやすく、もう少し、データ量が多くても通信回線が快適であってほしいと思います。</p>	<p>「地域の活力向上支援・地域デジタル人材の育成」に記載のとおり、公的施設の WIFI 環境の整備などに取り組んでまいります。</p>
13	-	第5章 計画の推進体制	<p>デジタル人材の育成には、各課の職員がデータ活用や DX の必要性を理解することが重要であると考えます。</p> <p>そこで、自治体のデータ活用や DX に明るい専門家による研修の実施等が効果的であると考えます。</p>	<p>「デジタル人材の育成・確保」のとおり、デジタル人材の育成と確保に努めてまいります。</p>